

第1回 ひと☆まち 児童館フォーラム in 仙台 ～ 子どもの育つ遊びの力・遊びの魅力 ～

開催要項

主催：公益財団法人 仙台ひと・まち交流財団

協力：一般財団法人 児童健全育成推進財団

1 開催趣旨

少子化がますます進む一方で、放課後児童クラブの登録数が増加しています。また、地域毎に若干の違いはあるものの高齢化が進む中であって、それぞれの地域の子どもの育つ環境は短い期間でどんどん変化しています。このような時代の流れの中で、児童館の目的や基本機能が忘れられがちになることもあります。

だからこそ、児童館職員が中心となって今後の児童を取り巻く地域環境を展望しつつ、地域の関係者や学校関係者と共に児童館の基本に立ちかえることが必要です。児童館職員をはじめ、関係者が児童館の目的や基本的な機能を理解したうえで、今後の健全育成を検討することを目的に、児童館職員による主体的な自己研鑽の機会に発展することを期待しつつ開催いたします。

2 後援

仙台市，仙台市教育委員会，仙台市 PTA 協議会，仙台市私立幼稚園連合会，河北新報社
朝日新聞仙台総局，読売新聞東北総局，毎日新聞仙台支局，産経新聞社東北総局
共同通信社仙台支社，時事通信社仙台支社，NHK 仙台放送局，TBC 東北放送，仙台放送
ミヤギテレビ，KHB 東日本放送

3 開催日 平成29年2月26日（日）13：00～17：00

4 開催場所 仙台市戦災復興記念館（仙台市青葉区大町 2-12-1）

5 参加対象 児童館職員・運営団体職員
自治体職員・教職員
子育て支援クラブ・子ども会育成会・民生児童委員等の地域組織の会員
子育て支援活動団体のメンバー
児童館に関心のある大学生・専門学校生
保護者及びテーマに関心のある方々

6 参加費 無料 ※参加者交流会は別途

7 内容及び日程

■ 全体会・特別講演

13:00～14:30 5階会議室 定員100名

「子どもの育つ遊びの力・遊びの魅力」

一般財団法人 児童健全育成推進財団 事務局長 依田 秀任 氏

子ども達の成長には遊びと学習が不可欠です。学習による知恵の獲得と遊びによる知恵の獲得は車の両輪にもたとえられる関係にあります。ともすると大人は学習を優先して考える傾向にあります。また、大人は遊びを息抜きに過ぎないと考えがちです。子どもと遊びについて、人を育てる遊びの魅力についての大人の理解を促します。

■ 分科会

14:45～16:00 4階各会議室

◆ 第1分科会 「遊びで変わる・遊びで育つ」

会場：4階第1会議室 定員：50名 対象：児童館職員（勤務年数5年未満）

<講師> 東京都八王子市立中野児童館 児童館長 井垣 利朗 氏
<メンバー> 木町通児童館 児童厚生員 齊藤 寿一郎

☆願 い☆ 子ども達には「自分らしく成長し大人になって幸せにになりたい。」という願いがあります。

★内 容★ 遊びから得られる知恵があること、遊びで何かが変わることを体験するワークショップです。体験をとおして、遊びと児童健全育成の関係についての気づきを促します。

◆ 第2分科会 「要支援児と遊び」

会場：4階第2会議室 定員：50名 対象：どなたでも

<ゲスト> 宮城学院女子大学 教授 足立 智昭 氏（臨床発達心理士）
<ゲスト> 仙台市障害者総合支援センター 主幹 只埜 弓美 氏（保健師）
<ホスト>（公財）仙台ひと・まち交流財団子ども育成課 課長 後藤 敬二

☆願 い☆ 障害のある子もない子も「普通にみんなと同じ事をした。」という願いがあります。

★内 容★ インクルージョンの理念に沿った支援をどのような仕組みの中で考えればよいのかについて、また、現在実施しているスーパーバイザー巡回やICFシートを用いた定例レビューの今後の展開について検討します。

◆ 第3分科会 「中学生とのかかわり・児童館のできること」

会場：4階第4会議室 定員：40名 対象：どなたでも

<ゲスト> 仙台市立八軒中学校 校長 石川 一博 氏
<メンバー> 川平マイスクール児童館 主任 今野 明美
<ホスト> 大沢児童館・市民センター 館長 佐藤 正道

☆願 い☆ 中学生にも「地域社会に参加して一人前と認められたい。」という願いがあります。

★内 容★ 中学生は地域社会に参加できているのだろうか？地域は中学生を地域の一員として受け入れているのだろうか？現状を探りながら、中学生と地域との関係のあり方について検討し、中学生と地域の関係づくりについて、児童館ができることを検討します。

◆ 第4分科会 「児童館の遊び・児童クラブの遊び」

会場：4階研修室 定員：50名 対象：どなたでも

<アドバイザー> 一般財団法人 児童健全育成推進財団 事務局長 依田 秀任 氏
<メンバー> 虹の丘児童センター 主任 渡邊 由貴
<メンバー> 中野栄児童館 主任 菅原 広美
<メンバー> 館児童センター 児童厚生員 狩野 裕子

☆願 い☆ 自由来館児童には「児童館で思いっきり遊びたい。」という願いがあります。児童クラブの児童は、この願いに加えて「児童館で安心して過ごしたい。」という願いがあります。

★内 容★ 自由来館児童と放課後児童クラブ児童では、児童館に対する期待や願いが異なります。この違いを児童館運営にどう反映すべきかについて、「遊び」を切り口に、児童館職員が特別講演をいただく依田氏にアドバイスをいただきながら考えます。

■ 全体会・分科会報告

16:15～17:00 5階会議室 定員100名

各分科会の報告を行います。

■ 参加者交流会

17:30～18:45 2階レストラン 定員50名

立食形式による参加者の交流会です。会費（3,000円）は、交流会の会場でいただきます。

8 ポスターセッション

情報交換・意見交換を促し、交流を深めていただくことを目的として、4つの分科会のテーマに沿った活動報告や実践事例の成果を募集し、会場に掲示します。各分科会の中で、紹介させていただく場合もございます。応募者は全体会・分科会に優先的に参加することができます。ポスター書式は、申し込み受付後に順次、E-mailでお送りします。

※ 書式は word ファイルで、A4判たて1枚、22文字×38行×2段の横書きです。

※ ポスターの提出締め切りは、平成29年1月31日（火）です。

9 参加申込み方法

別紙「参加申込書」に記入し、平成29年1月14日（土）までにお申込みください。

FAX ⇒ 参加申込書（紙）の各欄に記入し、022-225-2791 に送信

E-mail ⇒ 参加申込書（word ファイル）の各欄に入力し、kodomo04@hm-sendai.jp に送信

※メールの件名は、「児童館フォーラム申込み」としてください。

- ・募集要項（PDF ファイル）及び参加申込書（word ファイル）は、当財団の児童館ホームページ（<http://www.hm-sendai.jp/jidoukan/>）からダウンロードいただけます。
- ・ポスターセッション応募者は、全体会・分科会に優先的に参加できます。
- ・申込み状況によっては、他の分科会への移動をお願いする場合がございます。
- ・申込み締め切り後、順次、参加の可否や当日のご案内をお送りします。

【主催者問い合わせ先】

（公財）仙台ひと・まち交流財団 子ども育成課
〒980-0804 仙台市青葉区大町 2-12-1
TEL 022-268-5079 FAX 022-225-2791
E-mail kodomo04@hm-sendai.jp
HP <http://www.hm-sendai.jp/jidoukan/>



【当日の日程】

全体会 特別講演	分科会	全体会 分科会報告	交流会	ポスター
受付 12:15 開始 13:00 終了 14:30	受付 14:15 開始 14:45 終了 16:00	受付はありません。 開始 16:15 終了 17:00	受付 17:00 開始 17:30 終了 18:45	5 階ロビーに展示
5 階会議室	4 階各会議室	5 階会議室	2 階レストラン	

【備考】

- ・特別講演会からの参加者は5階、分科会からの参加者は4階の各室前で受付します。所属名・氏名を記載した名札をお受け取りください。（受付番号順に並べています。）
- ・5階ロビーに各分科会のポスターを展示しています。分科会から参加される方は、展示をご覧になってから入室願います。
- ・各会場は自由席ですが、申込み多数のため、前から席をつめて着席願います。
- ・欠席や参加区分の変更等をご希望される場合は、事前にご連絡ください。
- ・交流会の参加費（3,000円）は、お釣りのないようにご用意願います。2階レストランの受付で、所属名・氏名を記載した領収書を発行します。また、交流促進のため、名刺をお持ちいただければ幸いです。

【会場へのアクセス】

仙台市戦災復興記念館（仙台市青葉区大町 2-12-1）

● 市営地下鉄

東西線：大町西公園駅で下車。東1番出口から徒歩6分

南北線：広瀬通駅で下車。西4番出口から徒歩12分

● 市営バス

仙台駅西口バスプールのりばから約7分、東北公済病院・戦災復興記念館前で下車し、徒歩2分

10番のりば 茂庭台、折立/西花苑行（西道路経由）

15-1番のりば 全路線

15-2番のりば 全路線

● 徒歩

仙台駅西口から約25分

